

## 子どもと人権



2014年1月26日に長崎市で法務省、全国人権擁護委員連合会他の主催で開催されました人権シンポジウム「子どもと人権～いじめ・体罰・虐待のない社会を目指して～」での小森美登里さんの講演内容の要約が冊子「アイユ」に掲載されています。

私は、一人娘をいじめによる自死で失いました。15歳で亡くなりました。今、生きていたら31歳です。あの日から今日まで、どうしていじめ問題が解決していないのか、いくつか思い当たることがあります。一つ目は、私たち大人が心の存在をないがしろにしてきたからではないでしょうか。目に見える肉体と目に見えない心、この二つが揃つて一つの命があるということを大人も認識する必要があると思います。二つ目は、被害者責任論がメ

ディアや学校で氾濫していることです。自殺する人は弱いんだ、いじめられる子に原因がある、といつた考え方は、今まで苦しんでいる子どもを死へと追いつめてしまう気がしてなりません。さらにもう一つは、やり返すことを行なうことで教える人が多いことです。私どものNPOでもアンケートをとりましたが、やられたらやり返していく、やり返すぐらいの強さが大切だ、と考えている人が約半数いました。自分がされて辛いことは他の人に対してはいけない、と大人が教えることを徹底できたらと思っています。

私は、一人娘をいじめによる自死で失いました。15歳で亡くなりました。今、生きていたら31歳です。あの日から今日まで、どうしていじめ問題が解決していないのか、いくつか思い当たることがあります。一つ目は、私たち大人が心の存在をないがしろにしてきたからではないでしょうか。目に見える肉体と目に見えない心、この二つが揃つて一つの命があるということを大人も認識する必要があると思います。二つ目は、被害者責任論がメ

親子のコミュニケーションがとれていれば、子どもは何でも話してくれると誤解している大人もありますが、親が大好きだからこそ言えない、親にだけは言えない、そう話してくれる子どももいます。また、アンケートからは、実はいじめをしている子どもたち自身、約7割が苦しみや辛いことを抱えていることもわかりました。

私たち大人は、いじめに関する知識が多くあります。子どもの声を聞くためにも子どもにしっかりと寄り添っていただきたいと思います。

岸へあと1メートルでも届かない立てない飛べない不安に生きる  
田浦町 西 照子  
『評』先程、台風11号、12号の来襲があり特に県南の被害は大きかった。高齢で不自由な身のひとり暮らしの不安。その例えとして、わずか1メートル先の岸でも立つことも飛ぶことも出来ず溺れてしまうと詠んでいる。そんな90歳の小寺さんは今日も頑張って生きている。  
岸へあと1メートルでも届かない立てない飛べない不安に生きる  
神田瀬町 小寺 雅子  
『評』先程、台風11号、12号の来襲があり特に県南の被害は大きかった。高齢で不自由な身のひとり暮らしの不安。その例えとして、わずか1メートル先の岸でも立つことも飛ぶことも出来ず溺れてしまうと詠んでいる。そんな90歳の小寺さんは今日も頑張って生きている。

咲きしばかりのグラジオラスに降る雨よ待めなき日を助長するがに

田の水に苦労せし話に若きらは苦笑すればども昭和の初期は

神田瀬町 大西カヲル

ドクターに禁酒と言われしに父の日に知らぬ息子が酒送りくる

中田町 倉橋 正則

不機嫌な訳ではないが寡黙なるキャラを

決めこむ梅雨まつただなか

立江町 大西 和美

ほんのりとやさしさにじむ合歓の花幼き頃の母を偲べり

櫛渕町 松下 玉枝

土佐の海鰹のたたきを口にするほんのり藁の香の塩タタキ

小松島町 多田 昭恵

誰がためにと頑張り咲かせし花ならん心届かず今朝は散りたり

立江町 森本 幸子

「元気でね」と孫より貰いしカキ肉エキス

今朝も欠かさず飲む粒数う

横須町 三宅 敏恵

病室の窓の街並みどつぶりと濡れたる上におも濡れおり

ひのみね総合療育センター 関 政明

を知つたら親は心配するだろうという気持ちから言えない子どももいます。親子のコミュニケーションがとれていれば、子どもは何でも話してくれると誤解している大人もありますが、親が大好きだからこそ言えない、親にだけは言えない、そう話してくれる子どももいます。

また、アンケートからは、実はいじめをしている子どもたち自身、約7割が苦しみや辛いことを抱えていることもわかりました。私たち大人は、いじめに関する知識が多くあります。子どもの声を聞くためにも子どもにしっかりと寄り添っていただきたいと思います。

咲きしばかりのグラジオラスに降る雨よ待めなき日を助長するがに田の水に苦労せし話に若きらは苦笑すればども昭和の初期は神田瀬町 大西カヲルドクターに禁酒と言われしに父の日に知らぬ息子が酒送りくる中田町 倉橋 正則不機嫌な訳ではないが寡黙なるキャラを決めこむ梅雨まつただなか立江町 大西 和美ほんのりとやさしさにじむ合歓の花幼き頃の母を偲べり櫛渕町 松下 玉枝土佐の海鰹のたたきを口にするほんのり藁の香の塩タタキ小松島町 多田 昭恵誰がためにと頑張り咲かせし花ならん心届かず今朝は散りたり立江町 森本 幸子「元気でね」と孫より貰いしカキ肉エキス今朝も欠かさず飲む粒数う横須町 三宅 敏恵病室の窓の街並みどつぶりと濡れたる上におも濡れおりひのみね総合療育センター 関 政明